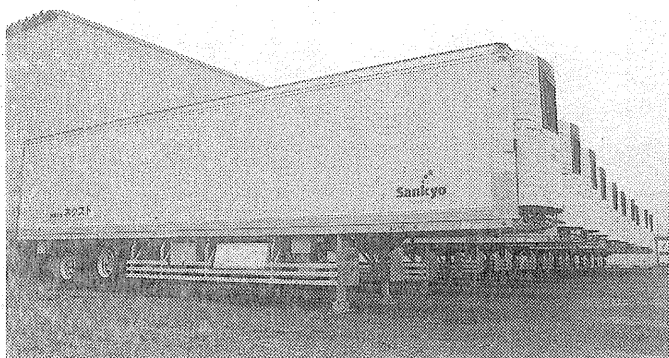


# 新型シャシー10両を導入

## ネクスト 貨物量増加に対応



### 車軸浮かせコスト削減

【北海道】ネクスト（岩村大樹社長、北海道北広島市）は9月30日、新型冷蔵・冷凍シャシー10両を増やし、自社便輸送を強化している。輸送品質の維持・向上を図るため、老朽化したシャシーを新車に代替するリプレイス計画を積極的に推進してきたが、今回は貨物量の増加に伴う増車。冷蔵・冷蔵、ウイング、平車など160両のシャシーをそろえる。

（北原 進之輔）

新たに導入したシャシーはフトアクスル機能を装備。空荷の時などにシャシーの

車軸の一部を上げ、地面と接するタイヤを減

らす。タイヤの接地本

数が少なくなるため、

高速道路料金が大型特

殊自動車から大型自動

車に変わり通行料を削

減。更に、タイヤの摩

耗を低減し、ランニン

グコストを抑えると同

時に、燃費が向上し環

境対策にも対応する。

同社が導入している

リフトアクスルを備え

たシャシーは、ウイング20

両と冷蔵・冷蔵10両の30両

となった。

また、冷蔵・冷蔵機ユニ

ットは米キャリア社の「ベ

クター1950」で、日本

で初めて搭載。エンジンか

ら得られる電力でコンプレ

ッサーが稼働するもので、

従来のユニットと違いベルト式ではない。ベルトなどの消耗品の交換が不要で、故障が低減するとともに整備のコストも下げられる。

輸送事業部の奈良昌紀部長は「輸送需要が増えるとともに、営業と輸送の連携がきかめ合い、順調に増車できた。会社設立後に一時的に減車していた分が元に戻

つてきている。引き続き、安全・環境に配慮し、輸送品質を向上していきたい」と力を込める。

コストカットのため空荷時にシャシーの車軸の一部を上げ、地面と接するタイヤを減らす